

食支援通信

Vol. 10

食支援研究会

テーマ

NST実績報告

NST介入状況について

当院では、栄養状態の改善を目指してNSTを実施しています。令和6年度診療報酬改定により栄養評価にGLIM基準が導入され、それに伴いNSTの介入基準が変わりました。GLIM基準が導入された2024年8月～2026年2月のNSTの介入状況を下記の表にまとめました。

介入項目	介入人数（件数）
必要栄養量充足困難	129人（196件）
褥瘡	49人（68件）
経口摂取移行	29人（44件）
消化器症状（下痢・嘔吐）	15人（21件）
その他（熱傷、潰瘍）	5人（5件）

必要な栄養を十分に補えず、対応に困っている対象者が多いことが分かります！

NST達成状況について

目標達成率 1位...85.7%消化器症状 2位...72.2%必要栄養量充足困難

最も達成率が高かったのは、「消化器症状（下痢・嘔吐）」で85.7%でした。消化器症状で介入する対象者は、経管栄養患者が多く、流動食の種類・投与速度の検討、内服の調整などを行うことで高い改善率に繋がっていると考えられます。介入件数が最も多かった「必要栄養量充足困難」の達成率は、72.2%と2番目に多い結果となりました。介入件数が2番目に多かった「褥瘡」の達成率は56.4%で、最も低い結果となりました。褥瘡で介入した対象者の中には、必要栄養量が十分に摂れていない方も多くみられます。必要栄養量が充足するように食事内容の見直しや栄養補助食品の併用、スキンケアやポジショニングなど対応することで改善を図っていきます。今後も積極的にNST介入を行い、患者様の容態に合わせた治療を進めていきたいと思ひます。

NSTでは、患者様の問題点をチームで共有し、改善に向けて検討を重ねています。現在は、食べる意欲が低下し、低栄養となりやすい患者様も多く認めます。栄養を補い、在宅でも安心して生活できる支援を心がけています！ ST板倉・栄養士村田

掲示許可シール
貼付スペース